



山腰 恵一 議員

本庁舎内に「働く場」の開設を！

障がい者雇用の現状は

【問】法定雇用率が4月から改正されたが民間企業の現状は。

【答】改正後の数値は11月頃に発表されるが、改正前の状況では、管内の民間企業76社が1・18%と法定雇用率を上回っている。

【問】指定管理者「施設」の雇用の現状と促進は。

【答】50事業者中、6事業者で16人を雇用している。市では業務の様書に規定を設けるとともに、雇用に係る経費の一部を助成している。

就労支援事業所(知的精神) 就労支援

【問】授産事業所で作られた製品の公共施設での展示や販売促進は。

次世代自動車「EV」電気自動車・「PHV」プラグインハイブリッド自動車普及へ向けた取り組み

【問】充電インフラ整備の状況と中長期計画は。

【答】本庁舎と荘川温泉「桜香の湯」に設置済み、今年度「パスカル清見」と「平湯バスターミナル」に設置工事を進めている。市としては、設置計画は定めていないが、空白地域がなくなることを目標に効率的な整備に取り組み

【問】一般就労の現状と課題は。

【答】一般就労への移行は、平成24年度で10人、平成25年8月末現在2人である。

希望する職種が少ないなど、就労先の拡大や開拓が必要

【問】本庁舎内に軽作業する「働く場」を開設しては。

【答】継続して提供できる業務量など課題があり、関係機関のご意見を伺い、取り組める事業について検討する。



授産事業所で作られた製品



中 博之 議員

市役所を元気に！

職員が元気な市役所

【問】市職員の自発的な研究活動はあるか。

【答】昨年は2つの自主研究会が活動した。また、若手中心の所属を超えた特別課題研修で政策提言発表会も行っている。

【問】近隣市村「飛騨市・下呂市・白川村」との連携は。

【答】飛騨地域では、本市以外は未整備の状況。安心して移動できる環境の整備に向けて近隣市村に働き掛けを行っていく。



がんばろう高山市役所

【問】「事務処理に追われて市職員どうして高山の将来像やまちづくりを議論することがなくなった」との声を聞くが、職員のモチベーションは大丈夫か。

【答】職員は使命感をもって仕事をしており、今後も各種研修会や適正な配置等さまざまな形でモチベーションの維持向上を図りたい。

【問】ゲートキーパー養成の考えは。

【答】県や保健所と連携し研修会の開催について検討したい。

【問】ネットを利用したストレスチェックのシステム導入の考えは。

【答】アクセス数は多いが相談件数の増につながらないという報告が、もう少し時間をかけて検討したい。

水道の指定管理

【問】水道の指定管理8

【問】水道の指定管理8

年間の評価は。
【答】安心安全な水の供給のため、協定書・仕様書に基づき適正に業務を遂行していただいており、評価審査会でも評価されている。

【問】指定期間内の柔軟な対応は可能か。

【答】管理施設や業務の変更、管理料に影響する事項については、協議の上、年度協定で対応している。

【問】公募にあたり、予想される電気料や消費税の負担増を指定管理者に押し付けることはないか。また、経費は計上されないのか。

【答】現在積算中のため答えられない。

【問】現状では配水池までとされている管理業務を、配水管・給水管・料金事務等にまで拡大する考えはないか。

【答】今後、指定管理のノウハウを活かす業務の拡大についても研究していきたい。